

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 国際園芸アカデミー教育環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111(内4113)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,189 千円 (前年度予算額：3,882 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,882	1,941	0	0	0	0	0	0	1,941
要求額	9,189	0	0	0	0	0	0	0	9,189
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・ 令和2年度に国際園芸アカデミー有識者会議から、アカデミー自身による教育改革の他、施設等の教育環境の充実について提言を受けた。
- ・ アカデミーと同じ可児市内にあるぎふワールド・ローズガーデン（旧：花フェスタ記念公園）は、多様な植生と、年間約40万人の来園者を有する、実践教育には絶好の環境を備えているが、座学が行える施設等がなく十分に活用できていない。

(2) 事業内容

- ・ 展示販売実習や、実習と連携した座学を実施するために必要な備品等を導入する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県立学校に関わる事項であり、県が負担することが妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	324	廃棄物処分
消耗品費	2,476	展示用什器、研修机・椅子等
備品購入費	6,389	切花用冷蔵庫、資材収納庫等
合計	9,189	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ① ぎふ農業・農村基本計画（令和3～7年度）
- ② 清流の国ぎふ花き振興計画（令和3～7年度）
- ③ 農林系アカデミー・農業大学校運営向上プラン（平成31～令和5年度）
- ④ 新・岐阜県都市公園活性化基本戦略（令和3～7年度）

(2) 国・他県の状況

県立の園芸系学校では兵庫県立淡路景観園芸学校（兵庫県）があり、学生が整備したキャンパス内の庭園を一般の来訪者に公開するなどの実践教育を行っている。

(3) 後年度の財政負担

維持管理に必要な経費は、後年度も財政負担する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が運営する学校であることから、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国際園芸アカデミーの教育内容の充実と併せて、教育環境の整備を進めて、学校の魅力を向上させることにより優れた学生を集める。

さらに、実践的教育の拡充により、花と緑の業界ニーズを満たす経営感覚に優れた人材の育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
国際園芸アカデミー受験者数	25	28	28	28	28	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 国際園芸アカデミー有識者会議を開催し、アカデミー自身による教育改革の他、施設等の教育環境の充実について提言を受けた。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 アカデミーの実践教育のフィールドとして、公園を活用するために必要な施設整備の基本構想を策定した。
	指標① 目標：26人、実績：28人、達成率：108%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 学生や教員について、本校と公園間の移動回数の増加に対応する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか アカデミーのサテライト施設を整備し、公園での実践教育を拡充する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など		